

平成25年度（平成24年度事業対象）

御殿場市教育委員会
自己点検・評価報告書

平成25年8月

御殿場市教育委員会

目 次

はじめに	1
点検・評価の方法	2
1．点検・評価の対象	
2．点検・評価方法について	
3．学識経験を有する知見の活用	
御殿場市教育委員会の自己点検・評価シート（平成24年度分）	3
1．教育委員会の活動	3
2．教育委員会が管理・執行する事務	5
3．教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	7
「御殿場市教育委員会管理及び執行状況に関する懇話会」からの意見	14
総合評価	16

はじめに

平成19年6月に教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正されました。この改正の一環として、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに市民に公表することが義務付けられました。

そこで、本年度も平成24年度の教育委員会の活動や教育施策について、自己点検・評価を行い、その結果を取りまとめましたので、ご一読の上、ご意見をお寄せいただければ幸いと存じます。

御殿場市教育委員会では、毎年教育施策の基本方針及び重点施策を定め、幅広い事業を展開しております。縦の接続と横の連携を組織化し、学校・家庭・地域社会がそれぞれの機能と役割を効果的に発揮できるように教育施策を進めております。多くの市民の皆様のご協力により、学校教育においても、また、生涯学習においても成果を上げているものと思います。

これからも、教育行政を担う者として、責任の重大さを深く認識し、本市の教育行政が時代に即し、公正かつ適正に行われるよう努めてまいります。

平成25年8月

御殿場市教育委員会 委員長 嶋田 征子

<参 考> 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

点検・評価の方法

1 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務、教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の3区分とし、本年度は、平成24年度に実施した事務事業について点検・評価を実施しました。

【大項目1】 教育委員会の活動

教育委員会の会議の運営改善や公開、保護者や地域住民への情報発信など6項目についてその実施状況の点検・評価を行いました。

【大項目2】 教育委員会が管理・執行する事務

教育行政の運営に関する基本方針の策定、教育機関の設置や廃止、財産の管理、規則の改廃等、教育委員会の職務権限に属するものの実施状況の点検・評価を行いました。

【大項目3】 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

本年度は、教育行政の運営に関する基本方針に定められた18の主要施策について点検・評価を行いました。

2 点検・評価方法について

点検・評価に当たっては、事業の進捗状況を総括し、その達成度を自己評価するとともに、課題や今後の方向性についての検討をしました。

判定は、A：達成している B：概ね達成している C：達成していない D：全く達成できていない の4段階で評価を行いました。

達成度の評価は、客観性の確保のため、数値に基づいた評価になるよう努め、それぞれの施策を構成する主要事業ごとに、できるだけ指標及び目標値の設定を行いました。また、今後の方向性は、拡大、継続、見直し、縮小、停止、廃止、完了の7項目で示しています。

なお、教育委員会が管理・執行する事務については、規則で規定された事務であるため、達成度及び今後の方向性については判定せず、件数の表示をしました。

3 学識経験を有する知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育委員会の自己評価結果について、「御殿場市教育委員会管理及び執行状況に関する懇話会」を開催し、次の方々から意見・助言をいただきました。

滝口和男 御殿場市PTA連合会の代表

勝又浩吉 知識と経験を有する者（元社会教育委員）

土屋建城 知識と経験を有する者（会社社長）

御殿場市教育委員会自己点検・評価シート（平成24年度分）

判定	達成度	A達成している B概ね達成している C達成していない D全く達成できていない						
	今後の方向性	拡大	継続	見直し	縮小	停止	廃止	完了

大項目	中項目	小項目	点検・評価			
			判定		状況、課題、今後の対応	
			達成度	今後の方向性		
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の運営改善	教育委員会会議の開催回数	A	継続	定例会12回、臨時会2回、協議会を12回開催した。各委員から活発な意見・発言・提言があった。	
		教育委員会会議の運営上の工夫	B	継続	施設訪問を実施するとともに、会場に改築工事が終了した玉穂小学校や南学校給食センターなど庁舎以外の施設を利用して所管施設の実情の把握と施設の視察も行った。 会議の開催日や開催時間等について検討し、1年間のスケジュールをホームページなどで公開した。	
	(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	教育委員会の会議・会議録の公開状況	B	継続	定例会教育委員会は、開催日等を市の掲示板に掲示し、公開の形で行っており、6名の傍聴者があった。1年間の委員会開催日をホームページなどで公開した。開催時間や開催場所についても工夫をし、傍聴しやすい体制を整えた。 会議録については、市の条例に基づき、情報公開請求があれば応じていく方針とし、また、平成25年4月からの公開へ向けて協議した。	
		広報、広聴活動の状況	A	継続	御殿場市教育施策、重点施策、事業内容等をホームページ上に掲載した。 無線通報で委員会開催の前日夜と当日朝に放送した。 広報ごてんば10月20日号及び11月5日号で新しい教育委員を紹介する記事を掲載した。	
	(3) 教育委員会と事務局の連携	教育委員会と事務局の連携	A	継続	議案書等を事前に事務局が各委員に配り、必要な場合は説明等を行うなどして連携を図った。事務局や関係部署からもいろいろな情報の提供がなされている。	
(4) 教育委員会と首長との連携	教育委員会と首長との意見交換会の実施	A	継続	2/19 市長との意見交換会を実施した。教育委員会は市長部局から独立した組織であるが、首長の考える教育行政を認識するためにも、意見交換は必要である。意見交換の概要は、「いじめ・体罰」、「幼児教育」、「地震対策」等であった。		

大項目	中項目	小項目	点検・評価		
			判定		状況、課題、今後の対応
			達成度	今後の方向性	
1 教育委員会の活動	(5) 教育委員の 自己研鑽	研修会への 参加状況	A	継続	<p>関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会研修会(埼玉大会)及び静岡県市町教育委員研修会等に参加した。</p> <p>1/30 三鷹市教育委員会における小・中一貫プログラム及びコミュニティ・スクールの成果と課題及び江戸東京たてももの園における文化価値の高い歴史的建造物の復元・保存について視察研修を実施した。</p>
		自主的な活動 状況	A	継続	<p>各委員は幼稚園、小・中学校を訪問し、行事に参加した。</p> <p>委員提案に基づき、視察や委員による自主的な研修を実施した。</p> <p>学校教育課職員と定期的に協議し、教育現場での問題点等の把握に努めた。</p>
	(6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	学校訪問	A	継続	<p>7/20 新築した玉穂小学校を訪問し、校内の視察を行った。</p> <p>各委員は幼稚園、小・中学校を訪問し、各種行事に参加し、情報交換や現場の状況を把握した。</p>
		所管施設の 訪問	A	継続	<p>7/20 定例教育委員会の前に、国登録有形文化財に登録された富士カントリー倶楽部クラブハウスの視察を行った。</p> <p>11/19 定例教育委員会の前に静岡県立御殿場特別支援学校の視察を行った。</p>

大項目	中項目	H24	H23	点検・評価・内容
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育行政の基本方針を定めること	1件	1件	平成24年4月定例会において、平成24年度御殿場市教育施策を決定した。
	(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止を決定すること	0件	0件	平成24年度はなかった。
	(3) 重要な教育財産の取得及び処分を市長に申し出ること	3件	1件	印野小学校用地、御殿場小学校用地、御殿場中学校用地の財産処分
	(4) 県費負担教職員である校長、教頭の任免その他の進退及び県費負担教職員の懲戒について県教育委員会に内申すること	2件	2件	平成24年12月定例会において、県費負担教職員の人事方針について承認した。 平成25年3月定例会において、県費負担教職員の人事異動について承認した。
	(5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること	0件	0件	平成24年度はなかった。
	(6) (4)、(5)に定めるもののほか、人事の一般方針を定め、及び懲戒を行うこと	0件	0件	平成24年度はなかった。
	(7) 部長、次長及び課長並びに県費負担教職員以外の学校その他の教育機関の長の任免を行うこと	1件	1件	平成25年3月臨時会において、教育委員会の人事案について承認した。 (平成25年4月1日付人事異動)
	(8) 学校その他の教育機関の敷地を選定すること	0件	0件	平成24年度はなかった。
	(9) 教育委員会規則及び規程等の制定又は改廃を行うこと	6件	7件	御殿場市立小・中学校の通学区域を定める規則の外、規則2、要綱1及び規程2の改正を行った。
	(10) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、市長に意見を申し出ること	6件	6件	補正予算(第1号)... 5月定例会で承認 23年度決算... 8月定例会で承認 補正予算(第2号)... 8月定例会で承認 補正予算(第3号)... 11月定例会で承認 補正予算(第4号)... 2月定例会で承認 25年度予算... 2月定例会で承認

2 教育委員会が管理・執行する事務

(11)	教育委員会に属する附属機関の委員を任命し、委嘱すること	54人	44人	社会教育委員 4月定例会で選任1人 文化財審議会委員 4月定例会で選任9人 文化財審議会委員専門委員 4月定例会で選任1人 学校設置審議会委員 5月定例会で選任13人、10月定例会で選任1人 学校結核対策委員会委員 5月定例会で選任8人 学校給食センター運営委員会委員 5月定例会で選任18人 図書館協議会委員 6月定例会で選任1人 子ども読書活動推進会議委員 6月定例会で選任1人 社会教育指導員 12月定例会で選任1人
(12)	学齢児童、生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	0件	0件	平成24年度はなかった。
(13)	市指定文化財の指定又は解除を行うこと	0件	0件	平成24年度はなかった。
(14)	教育委員会表彰を行うこと	3団体 14人	7人	御殿場市生涯学習推進功労賞 3団体、5人 感謝状贈呈 教育委員会委員2人、社会教育委員1人、青少年活動推進委員3人、PTA連合会長1人、文化財審議会委員2人に対し、感謝状を贈呈した。
(15)	教科用図書の採択を行うこと	0件	1件	平成24年度はなかった。
(16)	就学援助の認定を行うこと	311件	320件	就学援助 347人の申請があった。 311人の児童・生徒を認定した。 認定の付議回数11回
(17)	御殿場市公文書公開条例第12条に規定する不服申立てがあった場合の手續に関すること	0件	0件	事案はなかった。
(18)	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価	1件	1件	平成23年度に実施した教育委員会の事業について、教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務及び教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の3つに区分し、点検評価を実施した。

大項目	重点施策	主要施策	判定		判定理由(実施内容・成果、課題、今後の対応等)
			達成度	今後の方向性	
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	第1 心の教育を基本に「こころざしをを持った子ども」を育む、魅力ある教育の推進	学びの見通しを活かした幼・小・中一貫教育	B	継続	<p>【実施内容】 各中学校区における幼・小・中の連携が確実に行われている。内容も「あいさつ運動」や「基本的なしつけ」などについての取組や教職員の研修などについて質的な深まりが見られた。また各校ではPDCAの学校マネジメント評価を進めるなかで、教育課程の改善が進んでいる。地域との連携もさらに深まり、地域のボランティアが様々な形で学校支援を行っている。</p> <p>【結果・成果】 活動は日頃の教育活動に根付いたものとなっている。その中で特に連携・一貫の重点(柱)を明確にした取組が成果を上げている。</p> <p>【課題】 保育所との連携がまだ十分ではない。</p> <p>【今後の対応】 連携・一貫教育をテーマに研究指定をした富士岡中学校区でさらに先進的な研究に取り組みせるとともに、その成果を全市に広げていく。</p>
		魅力ある学びづくり	B	継続	<p>【実施内容】 御殿場市小山町の授業研修会、各教科の研修会、不登校や危機管理等の研修会などキャリアに応じ、今求められる専門性に対応する研修を行うことができた。また市の研究指定校や各校の研究推進のための指導主事の派遣、教育論文募集等を実施した。</p> <p>【結果・成果】 教職員の研修体制の充実に伴い、研修が役に立ったと答える教職員の割合が増加している。</p> <p>【課題】 児童生徒の中に学習への充実度や学校生活への満足度に2極化が生まれている。</p> <p>【今後の対応】 教職員の研修内容の改善を図るとともに、教職員の研修意欲をさらに高める取組を進めていく。その中で、学校生活への満足度が十分でない児童生徒へのより効果的な指導・支援を進めていく。</p>
		子どものニーズに応じた特別支援教育の充実	B	継続	<p>【実施内容】 特別支援をテーマにした研究指定校の発表会が行われた。市では特に就学指導に力を入れ、全市を挙げて特別支援教育の充実を図った。幼稚園・保育園の協力のもと、小学校入学時前からの就学指導を小学校・中学校の指導につなげていく連携体制が整った。また市の巡回相談員及び専門家チーム会議により児童生徒のそれぞれの表れをふまえ、個のニーズに応じた支援ができるような助言・支援体制が整っている。校内では年3回の就学指導委員会や必要に応じて開かれるケース支援会議をとおして、個別の教育支援計画指導計画を活かしたきめ細やかな支援がなされている。特別支援学級の補助者や発達障害支援補助者の配置を行った。</p>

大項目	重点施策	主要施策	判定		判定理由(実施内容・成果、課題、今後の対応等)
			達成度	今後の方向性	
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務					<p>【結果・成果】 特別支援コーディネーターを中心とする校内の支援体制は整いつつある。またチームで対応する共同体制が充実してきた。</p> <p>【課題】 特別支援対象児童生徒、就学指導委員会対象の児童生徒は増加しており、保護者の要望も多様化している。</p> <p>【今後の対応】 教職員に質の高い研修を進めるとともに、補助者等の増員をさらに進めていく。</p>
	第2 生涯学習環境の充実と豊かな人づくり、地域づくりの推進	生涯学習の推進	B	継続	<p>【実施内容】 静岡県民カレッジ連携講座として市民大学、地域づくり活動学習講座等を開催した。 生涯学習ボランティアセンター「ひろがり学習塾」は、PR支援に加え、発表の場として「ごてんばDONDON」を開催した。 二宮尊徳の報徳思想を見直し現代社会に生かすことを目的とした「報徳サミット」を開催した。</p> <p>【結果・成果】 市民大学講座は幅広い講義内容になるように工夫した。「報徳サミット」は、イベントをきっかけとした学習活動が大変活発に行われた。</p> <p>【課題】 社会教育委員会の意見や提言が社会教育事業に十分には活用されていない。また、ひろがり学習塾の会場を確保することが難しくなっている。</p> <p>【今後の対応】 社会教育委員会の役割を明確にして、意見や提言を生涯学習事業などに生かすために情報発信していく。 ひろがり学習塾の会場確保のため、区や関係団体への協力依頼を進めていく。</p>
		家庭教育力の向上	B	継続	<p>【実施内容】 楽しい子育て教室を開催し、親のあり方・しつけ方の指導を学んだ。 家庭教育学級を24学級で開級した。また、家庭教育学級運営委員研修を行った。 各小中学校の1日入学説明会時に子育て学習講座を行った。</p> <p>【結果・成果】 家庭教育力の向上、子育ての不安解消の成果があった。</p> <p>【課題】 各講座教室とも、関心が高く昼間の研修会に参加できる層に限定される傾向にある。</p> <p>【今後の対応】 各講座教室に参加できない人に向けての効果的な情報発信方法等を検討していく。</p>

大項目	重点施策	主要施策	判定		判定理由(実施内容・成果、課題、今後の対応等)
			達成度	今後の方向性	
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	第2 生涯学習環境の充実と豊かな人づくり、地域づくりの推進	人づくり・地域づくり活動の充実	B	継続	<p>【実施内容】 地域づくり活動促進地区事業を湯沢区、永原区で実施した。また、ごてんばDONDON開催打合せなどで地域づくり活動主事の情報交換を行った。 社会教育的団体(婦人会連絡協議会、ボーイスカウト、ガールスカウト)へ補助するとともに定例会や各種活動での支援を行った。</p> <p>【結果・成果】 会議や情報交換の中で各活動が活発となった。各種活動発表により広く市民に地域づくり活動をPRすることができた。</p> <p>【課題】 社会教育的団体は、会員数が減少傾向にあり、コミュニティ活動にもっと広い年代層の多くの住民が関心を持つ必要がある。</p> <p>【今後の対応】 広く市民が関心を持つような仕掛けづくりや支援活動を行い、参加者を増やすとともに、講座内容を精査していく。</p>
		青少年の育成	B	継続	<p>【実施内容】 青少年活動推進委員の定例会を開催して情報交換や活動の支援を行った。また、青少年チャレンジ体験事業等の企画支援と青年団情報交換会を開催した。 中学生を対象とした高原教室を国立中央青少年交流の家と共催で実施、参加中学生は、マカオの青年とともに富士登山を行った。</p> <p>【結果・成果】 放課後子ども教室は、新たに東小が増え6か所での実施となった。 わたしの主張発表大会は、全国大会への出場が決まった発表者もあり、レベルの高い発表大会が運営できた。</p> <p>【課題】 放課後子ども教室は、開催場所や人材確保に毎年苦労している。また、福祉部局との連携も進んでいない。 青年層を対象とした事業への参加者が少ない。</p> <p>【今後の対応】 放課後子ども教室は、試行の位置づけとなっており、今後のあり方や進め方を検討する必要がある。 青少年活動推進委員の資質向上のための研修、青年講座開催への支援を進めていくとともに、効果的な募集方法や参加に興味を持つプログラム等を研究していく。</p>
	第3 保護と文化財の活用	文化財の保護・継承・保存とその活用	B	継続	<p>【実施内容】 富士山測候所資料展(会場:工業振興センター)、阿部雲気流研究所資料展(会場:富士山樹空の森)を開催した。 天然記念物印野の熔岩隧道丸尾指定地の整備を実施した。</p> <p>【結果・成果】 富士山世界文化遺産登録に向けて、収蔵資料の展示公開を積極的に行い活用に努めた。</p>

大項目	重点施策	主要施策	判定		判定理由(実施内容・成果、課題、今後の対応等)
			達成度	今後の方向性	
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	第3 文化財の保護と活用				<p>[課題] 民族資料等を保管している収蔵庫が老朽化していることに加え、資料館などの公開施設がなく市民への公開に支障がある。</p> <p>[今後の対応] 郷土資料館の新設など、資料の整理、収蔵と公開について研究を行っていく。</p>
		富士山文化遺産への登録	A	継続	<p>[実施内容] 富士山世界文化遺産登録に向け、ICOMOS調査への協力、現地調査事業、登録推進を考える市民団体への協力、県への協力のほか、市内の富士山関連文化財の整備も行った。</p> <p>[結果・成果] 富士山世界文化遺産登録に向けた積極的な勧告が出された。</p> <p>[課題] 本市には構成資産が少なく、文化遺産登録後の活動の在り方を検討する必要がある。</p> <p>[今後の対応] 富士山に関連する文化財の保全と活用の方法を検討していく。</p>
	読書の推進	B	継続	<p>[実施内容] 図書購入とリサイクル事業により蔵書の充実を図った。御殿場市子ども読書活動推進計画(平成19年度～27年度)に基づき事業を実施したほか、読書推進月間(11月)、家庭読書の日(第3水曜日)の制定や図書館まつりの開催、移動図書館車のきめ細やかな運行を行った。</p> <p>[結果・成果] 蔵書の充実とリクエスト制度の定着により貸出冊数等が増加した。ライオンズ号は、4,897人が利用、延べ32,971冊の貸出しを行った。</p> <p>[課題] 視聴覚資料は媒体の不良、再生機器の故障が発生している。ライオンズ号の市街地での場所の確保が難しくなっている。</p> <p>[今後の対応] 適正な視聴覚資料の保存と整理を行うとともに、安価な再生機器の整備も検討する必要がある。ライオンズ号の安定運行のための場所の見直しを行う。</p>	
	第4 読書の普及や自発的な学習活動の支援	自発的な学習活動の支援	B	継続	<p>[実施内容] ボランティア団体の活動内容などの情報交換を行った。学校図書館との連絡会を開催し、団体貸出(学校への貸出)の方法や小中学生の自発的な学習活動への取り組みの情報共有を行った。近隣公立図書館との広域利用を利用者に紹介し、静岡県横断検索システムを利用して当館に所蔵のない資料を提供した。</p>

大項目	重点施策	主要施策	判定		判定期理由(実施内容・成果、課題、今後の対応等)
			達成度	今後の方向性	
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	第4 読書の普及や自発的な学習活動の支援				<p>【結果・成果】 ネットワークシステムの活用による広域利用が定着拡大している。</p> <p>【課題】 施設と設備の老朽化が進んでいる。また空調機器が古いため、細やかな省エネ対策が必要である。</p> <p>【今後の対応】 施設の不具合も発生しており、大規模改修が当分の間、見込めない中で、利用者に不便をかけないよう対応していく。</p>
		調査研究事業	B	継続	<p>【実施内容】 写真資料デジタル情報化事業は、平成20年度に終了したが写真調査が昭和62年までとなっており、残りの昭和63年から平成15年までの15年分の資料について事業を継続している。</p> <p>【結果・成果】 デジタル情報化は376,917点中、336,236点までを完了、残りは40,681点となっている。</p> <p>【課題】 写真調査は年々難しくなっている。</p> <p>【今後の対応】 写真調査を引き続き進める。古文書調査事業を、今後どのように実施するか検討する。</p>
	第5 楽しい食習慣の育成と推進	望ましい日常の食生活習慣の育成	A	継続	<p>【実施内容】 献立の工夫や『給食だより』の発行、試食会、学校訪問を実施した。地場産品の利用促進は、ごてんばコシヒカリや牛乳を始め、食材の活用に努めた。</p> <p>【結果・成果】 地場産品を多く利用することにより、食育の充実が図られた。</p> <p>【今後の対応】 引き続き実施する。</p>
		学校給食設備の充実と合理的な運営	C	見直し	<p>【実施内容】 3か所の給食センターで給食事業の対応をし、運営委員会では運営に関する必要な事項を審議した。</p> <p>【結果・成果】 西・高根給食センターの老朽化が進み、修理すべき案件が増えた。</p> <p>【課題】 西・高根給食センターの老朽化対応、全センターの不測事態による停電時対応が必要である。</p> <p>【今後の対応】 年次計画的な大規模修繕計画を検討する。</p>

大項目	重点施策	主要施策	判定		判定理由(実施内容・成果、課題、今後の対応等)
			達成度	今後の方向性	
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	第5 健康教育にふさわしい楽しい食習慣の育成と推進	衛生思想の普及と作業安全の確立	A	継続	<p>【実施内容】 衛生講習会を開催した。物資納入業者の選定や検収の徹底をした。作業の安全指導や事故防止の徹底、施設点検の実施をした。</p> <p>【結果・成果】 衛生講習会は定期的で開催した。物資納入業者の選定や検収の徹底は図られた。作業の安全指導や事故防止の徹底も確実にした。</p> <p>【今後の対応】 引き続き実施する。</p>
		ごみ減量化対策	A	継続	<p>【実施内容】 学校給食から出るごみの減量に努めた。</p> <p>【結果・成果】 各給食センターの調理後の野菜くず等は、金華豚の餌や堆肥化した。また、学校から出る残飯等を各センターで破碎し、堆肥化した。牛乳パックは水洗後、リサイクルし、廃油はインクの方法やトラックの燃料等に再利用した。また、給食を残さない献立づくり等により学校での残食量が前年度比22.4%減となった。</p> <p>【今後の対応】 引き続き実施する。</p>
	第6 施設・多設備化する総合的な環境に対応した	施設・設備の整備	A	継続	<p>【実施内容】 御殿場市耐震化計画に基づき、小中学校の校舎及び体育館の耐震補強・改築事業を計画的に実施した。(小学校4校、中学校3校)</p> <p>【結果・成果】 玉穂小学校校舎改築事業、原里中学校耐震補強事業が完了した。</p> <p>【課題】 校舎等の耐震化を最優先に実施しているため、施設の老朽化に伴う改修が遅れている。</p> <p>【今後の対応】 計画どおりに耐震化事業を実施する。</p>
		教育機器の充実	B	継続	<p>【実施内容】 計画的に教育機器(電子黒板、パソコン、教材備品等)を整備した。</p> <p>【結果・成果】 分かりやすい授業実現のため電子黒板を導入した。また、授業に必要な教材備品を整備した。</p>

大項目	重点施策	主要施策	判定		判定期由(実施内容・成果、課題、今後の対応等)
			達成度	今後の方向性	
					<p>【課題】 最近の財政状況から、教育機器の充足が難しくなっている。</p> <p>【今後の対応】 計画的に教育機器の更新及び整備を進めていく。</p>

「御殿場市教育委員会管理及び執行状況に関する懇話会」からの意見

1 教育委員会の活動

市長との意見交換会は、単なる意見交換で終わっていないか。予算面を重点的に話した方がよい。どこに予算を使うかを協議することが重要。今後も本音の意見交換をしてほしい。

教育委員会回答：予算の面は重要であると思います。予算の枠配分は市長査定にて決定しております。内容については検討します。

市長との意見交換会の内容は、教育委員会の考えを明確にするためにも公開したほうが良い。

教育委員会回答：公開について検討します。

2 教育委員会が管理・執行する事務

- ・ 特になし

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

第1 心の教育を基本に「こころざし」を持った子どもを育てる魅力ある教育の推進

『「学びの実感」から「学び続ける意欲」に導く教育課程の創造』について、中学生の授業がよくわかると答える生徒数の割合が低いように思える。2極分化しているようだ。このわからないと回答した子ども達に対する具体策は何か

教育委員会回答：アンケートのよくわかるという回答は、子ども達が回答するには、ハードルが高いように思われる。中学校のテストの平均点は6割である。わかるという回答は多い。この質問の趣旨は、「授業に満足しているか」ということであると思う。そのために年間数回にわたって授業改善の研修会を実施しています。

「特別支援教育」は、保護者から様々な要望が上がっているが、対応できるのか。

教育委員会回答：その子に合った環境をもった学校に通学ができることがその子にとって良いことだと考えていますので 対応するよう努力しています。

第2 生涯学習環境の充実と豊かな人づくり・地域づくりの推進

生涯学習で意見や提言が施策に反映されていないように思える。

教育委員会回答：提言等をどのように活用していくかが今後のテーマだと思いますので、今年度から検討していきます。

好評な市民大学講座は、繰り返して実施してほしい。

教育委員会回答：検討します。

第3 文化財の保護と活用

郷土資料館の建設は民間ができることではない。前に進めて具現化してほしい。

教育委員会回答：検討します。平成24年度は調査費用がつき、調査を開始しました。

富士山が世界文化遺産登録されたが、御殿場市には構成遺産がないと思われるが。

教育委員会回答：富士山は、「富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉」という名称で世界文化遺産登録をされた。したがって、構成資産は神社等が中心となった。御殿場市では、明治以前の信仰があったが、今回の構成資産の対象とはならなかった。構成資産は1,500m以上の富士山域となるので、市民にもPRしていきたい。

第4 読書の普及や自発的な学習活動の支援

図書館が老朽化しているので、民間の力を活用した図書館づくりについて検討してほしい。

教育委員会回答：施設は昭和56年に建設された。現在耐震化、リニューアルを検討している。民間を活用したPFI方式については考えていない。図書館は貴重な資料の蓄積と活用も責務であるので、今後も直営で行っていきたい。

図書館の移設等は考えているのか。

教育委員会回答：移設について検討しましたが、今ある施設を活かして、使用していきたい。

第5 健康教育にふさわしい楽しい食習慣の育成と推進

給食に地場産品を使ってほしい。

教育委員会回答：地場産品を多く使用するよう努力しています。現在の地場産品の使用実績は35.5%です。御殿場コシヒカリや牛乳が中心となります。野菜や肉類も更に使用するよう検討しています。

第6 多様化する教育環境に対応した施設・設備の総合的な設備と活用

学校の校務用パソコンは、USBメモリ等による情報漏えいがある。現在、御殿場小学校、富士岡小学校に仮想PC型のシンクライアントシステムを採用していると聞いている。情報漏えい対策として有効なので、今後も採用してほしい。

教育委員会回答：今年度、中学校6校及び小学校1校の校務用パソコン等の更新を予定していますが、シンクライアントシステムを採用する予定です。

各小中学校の施設・備品の導入について財産区のお世話になっている。富士岡地区は財産区がないが、地区により格差がないように整備しているのか。

教育委員会回答：財産区からの繰入金等により、学校による教育環境の格差がないよう整備について配慮しています。

総合評価

【大項目 1】

教育委員会の活動の達成度については、10項目中A評価が8項目、B評価が2項目、今後の方向性については、全項目で継続となりました。

12回の定例教育委員会のうち2回を学校、地域施設で開催し、市民が傍聴しやすい開かれた教育委員会になるように努めましたが、傍聴者数は6人とどまり、前年度を下回りました。教育委員会の活動を知ってもらうためにも、教育委員会の制度及び開催を周知する方法をさらに検討する必要があるものと考えます。

また、平成25年3月分から定例教育委員会の会議録をホームページで公開するとともにホームページのリニューアルなどを行いました。今後も市民に対して活動が見えやすい教育委員会を目指していきたいと思います。

【大項目 2】

教育委員会が管理・執行する事務については、教育委員会規則で定められており、判定は行わず件数の表示とし、例年どおり実績の数値を表記しました。

【大項目 3】

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務については、平成24年度「御殿場の教育」にあります教育行政の基本方針となる御殿場市教育施策の18の施策を評価の対象としました。点検評価に当たりましては、それぞれの施策を構成する60の主要事業について、その進捗状況を測るための指標を定め、目標設定を行い、施策の評価に活用いたしました。

教育分野の事業は、成果が現れるまでに時間を要するものが多く、また、数値で測れないものも多いため評価が難しいと言えます。今後も指標として何がふさわしいか研究し、できる限り客観的で適正な評価になるよう努めます。

評価結果は、達成度についてはA評価が5施策、B評価が12施策、C評価が1施策、今後の方向性については継続が17施策、見直しが1施策となり、おおむね順調に進んでいるものと考えます。しかし、A評価の施策を含めて課題のある施策がほとんどです。評価結果に基づき、事業の見直しを行い、施策の改善を図っていきたいと考えております。

平成25年度

(平成24年度事業対象)

御殿場市教育委員会

自己点検・評価報告書

平成25年8月

御殿場市教育委員会